

府養研ニュース

2005年6月号

このページでは要点だけをお知らせしています。

追加記事は、本ページのリンクをクリックください。新しいウィンドウが開きます。

府養研ニュースは各種案内等の事務連絡と一緒に、毎月第1月曜日（祝日の場合火曜日）にEメールで配布されています。来月7月は4日（月）発行です。一部メール網がまだ整備中もしくは検討中の市町村は、郵送または逡送されています。

平成17年6月13日発行（発行遅らしました） 大阪府養護教育研究会（広報部）
事務局 柏原市立国分中学校 会長 多根井 次朗
〒582-0021 柏原市国分本町7-1-20
問い合わせ・ご意見は、Mailで [本部役員](mailto:fuyouken@visithp.jp)まで fuyouken@visithp.jp

府養研本部から

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

特別支援教育の動向、関連リンク紹介などの各種情報をご覧になれます。

ニュースの全部とバックナンバー、講演会案内、報告をご覧になれます。

役員総会（本部役員・支部役員のみ 役員の方、ご予約ください）

第1回 平成17年6月 9日（木） 午後3時～5時（終了）

第2回 平成17年9月 8日（木） 午後3時～5時

第3回 平成18年1月12日（木） 午後3時～5時です。

会場は アウィーナ大阪 3階 生駒（第2回のみ 信貴）の間

17年度総会終了しました **報告**はこちら

平成17年5月19日（木） アウィーナ大阪 生駒の間にて

平成16年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告、平成17年度役員選出、平成17年度事業計画、予算等、滞りなく終了しました。議事終了後は川島由美さん（車椅子陸上、アテネパラリンピック日本代表選手）の講演 演題 「私の生き方～車椅子生活11年を振り返って～」がおこなわれました。 <http://www.kawashimayumi.net/>（川島さんの公式ホームページ）

本部主催

ケアマネジメント研修会

2005年8月4日（木）・8月19日（金） アウィーナ大阪

昨年までと異なり、講演会形式ですので、広く参加いただけます。一日だけの参加も可能です。

研究部から

<p>自閉症教育プロジェクト 講演会 終了</p>	<p>2005年6月11日(土)午後 高津ガーデン3F ローズ 「自閉症・高機能自閉症・アスペルガー症候群の理解」 講師 堺市立百舌鳥養護学校 金井孝明 記事はこちら 50名の参加がありました。</p>
<p>自閉症教育プロジェクト 一日研修会</p>	<p>2005年8月2日(火) 東大阪市立イコーラムホール (事例報告と討議) テーマ「本府での特別支援教育をどう進めるか - 現状の養護学級のあり方からどう進めていけばよいのか -」 報告者 豊中市立東豊中小学校 坂下和子 コメント 大阪府教育委員会障害教育課・指導主事 (講演会) テーマ「高機能自閉症への具体的な支援を考える」 講師 堺市立日置荘小学校 山田充</p>
<p>自閉症教育プロジェクト 事例研究</p>	<p>10月15日(土)高津ガーデン or アウィーナ大阪 テーマ「小学校と中学校の連携についての事例による考察」 報告者 豊中市立東豊中小学校 坂下和子 豊中市立第十五中学校 養護学級担任・通常学級担任 コメント アクトおおさか 新澤伸子</p>
<p>特総研主催 自閉症教育実践セミナー</p>	<p>2005年10月21日(金) 大阪府教育センター http://www.nise.go.jp/soumuka/kikaku/katsudo/projects_project1-4.html NISE 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所</p>
<p>ICT 活用プロジェクト夏 期講座</p> <p>一昨年度から、夏期休業 中に開催して、好評をは くしてきました。今年も 実施します！！</p>	<p>日時：2005年8月17日・18日 9:30～17:00 会場：大阪府立高槻養護学校 場所決まりました。 http://www.osaka-c.ed.jp/takatsuki-y/ 〒569-0814 大阪府高槻市富田町1丁目3番17号 TEL 072-696-2836 FAX 072-693-4363 JR西日本・東海道本線 摂津富田(せっつとんだ)駅 下車 阪急電車・京都線 富田(とんだ)駅 下車 Flash 講座・ものづくりやおもちゃなどの改造講座・支援機器活用 の実際などをはじめとしてに複数の講座を開設する予定です。多数ご 参加ください。 詳細は、<u>決まり次第 HP に UP するとともに府養研ニュース7月号に</u> <u>てご案内させていただきます。</u></p>
<p>LD教育プロジェクト</p>	<p>2005年8月30日(火)講演会予定 吹田メイシアター</p>

研修部

テーマ別研修会 二次案内	2005年8月8日(月)午後2時～4時30分アウィーナ大阪 6分科会の個々のニーズに合わせた小回りの利く研修会
実技講習会	2005年8月24日(水) 10時から16時半 場所 アウィーナ大阪 講師 象の会 代表 内藤壽先生 内容 午前 教材紹介とお話し 午後 教材教具の制作 象の会のホームページにて作品が見られます。 http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/
教育講演会	2005年10月予定

他団体から

終了したもの

東大阪自閉症親の 会ピュア シンポ ジウム 終了	平成17年5月28日(土) 東大阪市 男女共同参画センターホール 「特別支援教育を地域でどう創っていくか」のテーマが熱く語られました。 親の会主催ですが、参加125名の内、教員の参加が37名でした。
--------------------------------	---

これからのもの

NHKハートフォー ラム 第4回 全国LD親 の会公開シンポジウ ム 案内はこちら	日時：2005年6月26日(日) 午前10時00分～午後5時30分 会場：NHK大阪ホール 会費：無料 定員：1400名 『発達障害のある本人・家族への支援に向けて』 - 特別支援教育と発達障害者支援法をめぐって 竹田 契一 (大阪教育大学名誉教授) 田中 康雄 (北海道大学大学院教育学研究科臨床講座教授) 内山 登紀夫 (大妻女子大学 人間関係学部助教授) 柘植 雅義 (文部科学省 特別支援教育調査官) 大塚 晃 (厚生労働省 障害福祉専門官) シンポジウム 「発達障害のある本人・家族への支援に向けて」 大阪LD親の会のHP http://www.normanet.ne.jp/~otahuku/
近特連 和歌山大会	「一人ひとりの教育的ニーズに応える特別支援教育の実践をめざして」 日時 2005年8月5日(金) 午前 開会行事・記念講演 演題「これからの学校教育と特別支援教育」 講師 宮崎 英憲 東洋大学文学部教授 午後 分科会 場所 和歌山県民文化会館 ・ ホテルアバローム紀の国 参加資料代 3,500円 二次案内はこちら 二次案内は支部単位で配布されます
日本特殊教育学会 第43回大会	2005年9月23日(金)～25日(日) 場所 金沢大学角間キャンパス http://www.ed.kanazawa-u.ac.jp/~tokkyo/

<p>第2回特別支援教育シンポジウム</p> <p>主催 JASEN</p>	<p>JASEN http://kansas.ceser.hyogo-u.ac.jp/jasen/</p> <p>日時：2005年8月6日(土) 13時30分～16時 案内はこちら</p> <p>会場：阪南パラドーム 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目22-15</p> <p>テーマ：保護者の養育負担を支援するために 会費 500円</p>
<p>日本臨床心理学会</p>	<p>2005年9月15日(木)～17日(土)第41回大会 大阪教育大学にて「特別支援教育」「不登校」「軽度発達障害」などのテーマ</p> <p>詳細は学会HP http://www.geocities.jp/nichirinshin/</p> <p>2005年7月9日(土)上智大学にて第2回関東地方委員会を開催予定 適応指導教室OBを交えての事例検討。</p>
<p>堺おもちゃ図書館ぼっぼ・発達障害啓発チーム「プリズム」</p>	<p>この会は堺市在住の障害児におもちゃで遊ぶ楽しさを提供する活動を毎月一回、堺市総合福祉会館で8年続けています。障害の種別・程度を問わず、0歳から10歳の子どもと家族が、毎年約1000名が参加しています。障害のある児の母親が中心となって運営され、障害児と家族のニーズに応えるため、相談、メールマガジンによる情報提供、イベントやセミナー企画などと活動の幅を広げています。おもちゃの図書館全国連絡会・堺市社会福祉協議会に加盟しています。詳細はこちら</p>
<p>ハルヤンネさん講演会 (@堺市)</p> <p>主催 発達障害啓発チーム「プリズム」</p>	<p>「堺市のみんなで、発達障害を啓発しよう！」</p> <p>ハルヤンネ@奥平綾子さん 講演会 案内はこちら</p> <p>平成17年7月8日(金) 11時～13時</p> <p>堺市総合福祉会館 5F ホール 南海高野線「堺東駅」より徒歩10分</p> <p>対象者：堺市とその近辺の発達障害児者の保護者・本人・関係者(定員496名)</p> <p>参加費500円 申込方法：メール miyumike@yahoo.co.jp</p> <p>件名「ハルヤンネさん講演会」とし、内容「名前、人数、連絡先」を送ってください。</p> <p>申し込みはできるだけ、メールかFAXでお願いいたします。</p> <p>定員になり次第、受付を終了します。</p> <p>おめでとう http://homepage2.nifty.com/omemedo-aut_support/</p>

役立つ情報

<p>内閣府</p> <p>http://www.cao.go.jp/</p>	<p>障害者施策推進本部が「公共サービス窓口配慮マニュアル」を作成し、国の窓口機関約7千か所に配布します。</p> <p>http://www8.cao.go.jp/shougai/manual.html</p>
<p>共用品推進機構</p>	<p>JIS化された絵記号のダウンロードが、財団法人共用品推進機構で始まりました。「共用品・共用サービス」とは、障害のある人、高齢者、そして健常者のだれにとっても 使いやすく配慮された製品・サービスのことで、絵記号は絵カード等を作るときに便利です。</p> <p>http://www.kyoyohin.org/JIS.html TOPは http://www.kyoyohin.org/index.html</p>

平成17年度大阪府養護教育研究会総会

文責 本部書記 藤岡



平成17年5月19日(木) アウリーナ大阪 生駒の間にて平成17年度大阪府養護教育研究会総会が行われました。西田会長のあいさつ、来賓の祝辞のあと、議長を豊中市立野田小学校の伊藤校長にお願いいたしました。平成16年度事業報告、収支決算報告、会計監査報告、平成17年度役員選出、平成17年度事業計画、予算等、滞りなく終了し、新会長には柏原市立国分中学校の多根井次朗校長が選出されました。他の本部役員は以下のとおりです。

会長 多根井次朗(柏原市立国分中学校) 副会長 多田実(藤井寺市立藤井寺西小学校)
副会長 本郷雅昭(大阪府立和泉養護学校) 書記 木村稔(大阪府立寝屋川養護学校)
書記 北山美穂(八尾市立曙川南中学校) 書記 田村真一(高槻市立芥川小学校)
書記 藤岡聖典(東大阪市立繩手南中学校) 会計 下村啓子(八尾市立養護学校)
会計監査 岩見秀樹(茨木市立大池小学校) 会計監査 三田耕平(泉大津市立条南小学校)

議事終了後は川島由美さん(車椅子陸上、アテネパラリンピック日本代表選手)の講演 演題「私の生き方～車椅子生活 11年を振り返って～」がおこなわれました。パラリンピックのビデオを少し見せていただき、義足の人が猛スピードで走ったり、車椅子が迫力のある動きをするのを見、その迫力とパワーは、オリンピックと較べても勝るとも劣らないと思いました。また、視覚障害のある人が安心して走るための工夫など、障害の特性を生かしたり、感じさせない工夫によって、スポーツに存分に打ち込める環境を作ることの大切さを感じました。

川島さんは、中学校3年の交通事故から車椅子生活となりました。その時のようすをお話いただけましたが、医師の言葉、家族の対応、本人の明るさがある、今の川島さんがあるようです。進学や就職においていろんな人と出会って感じたこと、アテネのパラリンピックで、困ったり、感動したりしたことなど、お話いただき、あっと言う間に時間がきてしまいました。川島さんは若いということもあり、きっと子供たちも波長があい、熱心に話を聞けると思います。

<http://www.kawashimayumi.net/> (川島さんの公式ホームページ)



自閉症プロジェクト講演会

2005年6月11日(土)午後 高津ガーデン3F ローズの間にて「自閉症・高機能自閉症・アスペルガー症候群の理解」(広汎性発達障害の理解と支援)のテーマで 堺市立百舌鳥養護学校 金井孝明先生の講演会が行われました。参加は50名で会場は満席でした。特別支援教育が始まることで、これから特別の教育的支援を必要とする児童生徒は増え、質的にも複雑化・多様化していきます。また、個に応じた支援という意味から、自立的、主体的に生活・活動をめざしていくこととなります。講演ではそういった情勢の変化と今後望まれる教育の方向をにらみながら、そのために必要な自閉症の理解の方法を従来の視点に加え、新しい視点からも示されていました。脳の働きから理解する自閉症像や行動障害のとらえ方(実はコミュニケーションである)だから、どういった対応が望ましく、どういった落とし穴にはまりやすいかなど、具体的な事例があげられました。視覚支援やAACなど、明日から役立つ方法も実例を示されました。アスペルガーまでを含めた場合でも、なおかつ生活上、コミュニケーション上に、困難さを感じられること、(常識的な了解が通用しない)(暗黙の了解が理解されない)(以心伝心などとんでもない)自己評価を下げさせないための適切な支援方法、いわゆる知的障害とは異なる支援が必要であること、何が優れていて、何が苦手であるか、心理学的にしっかりとらえることの重要性なども指摘されました。たいへん良い情報が凝縮されて紹介されていたと思います。金井先生ありがとうございました。

質問にもあったのですが、今後は通常の学級の担任もうまく巻き込みながら、こういった支援方法の大切さを感じ取ってもらい、一緒に児童生徒が快適な生活・学習ができるようにしていけるような方向性をプロジェクトでめざしていきたいですね。

(文責 本部書記 藤岡聖典)



府養研 テーマ別 研修会

『 行動に様々な問題を示す子どもたちの理解と援助 Q&A 』 (一次案内)

府下の障害教育に関わる先生方が、日頃の指導に関わる疑問や悩みを相談できる機会として続けております、『テーマ別研修会』を本年度も計画中です。例年は年度後半に開いていましたが、昨年度のアンケートのご意見をふまえて、今年度からは夏休み中に行うことに致しました。

1学期を終えて、子ども達の状況が分かり、課題や問題点の見えてきたこの時期に、それらを整理して見直す視点や具体的な対応策などを、助言の先生方のお話をいただきながら話し合いたいと思います。今日的な課題についての分科会を設定中です。

日頃悩んだり困ったりしていることを持ってご参加いただきたいと思います。養護学級担任の先生方だけでなく、通常の学級の先生方も、是非ご参加下さいますよう、ご案内致します。

1. 日 時 平成17年8月8日(月)午後2時～4時30分
(受付 午後1時30分より)

2. 場 所 アウィーナ大阪 大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12
近鉄奈良線・大阪線「上本町」下車 徒歩3分
地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅下車 徒歩8分

3. 各分科会のテーマ

分 科 会	テ ー マ
第1分科会	軽度発達障害の子どもたちの機能面からの理解と対応
第2分科会	軽度発達障害の子どもたちの行動面からの理解と対応
第3分科会	青年期の課題に対する理解と対応
第4分科会	自閉傾向を示す子どもたちの理解と対応
第5分科会	肢体不自由の子どもたちの理解と対応
第6分科会	性に関する課題のある子どもたちの理解と対応

各分科会の詳しい内容と講師の先生方の決定を詰めているところです。
申し込み方法と共に詳しくは7月号の府養研ニュースをご覧ください

NHKハートフォーラム

第4回 全国LD親の会公開シンポジウム

『発達障害のある本人・家族への支援に向けて』
- 特別支援教育と発達障害者支援法をめぐって

日時：2005年6月26日(日)

午前10時00分～午後5時30分(開場:午前9時30分)

会場：NHK大阪ホール

大阪市中央区大手前四丁目1番20号

TEL.06-6937-6000(直通)

<交通> 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」2番・9番出口すぐ
大阪市営バス「馬場町」バス停すぐ

会費：無料 定員：1400名

平成17年4月から「発達障害者支援法」が施行され、教育分野でも、特別支援教育推進事業が実施されます。いよいよ、これまで制度の谷間に置かれ支援が行き届いていなかったLD・ADHD・自閉症等の発達障害のある本人・家族への支援がはじまりますが、具体的に何が変わるのでしょうか？法律は施行されますが、乳幼児から成人期までの一貫した支援を具体化していくためには、現行の法令、枠組み、人材等について大きな変革、見直しが必要であり、学校関係者、専門家、保護者も含め、社会全体の特別支援教育や発達障害への理解向上を図っていくことも重要です。

このような観点を踏まえ、それぞれの分野での第一線の講師を迎え、第1部では、LD・ADHD・自閉症等の発達障害についての講演、第2部では、これからの施策の方向性の解説、第3部では、LD・ADHD・自閉症等の各支援団体から提言を行い、行政の担当者を交えて討論を行なう場を設けました。

多くの方のご来場をお待ちしております。

主催：全国LD(学習障害)親の会、NHK厚生文化事業団近畿支局、NHK大阪放送局、後援：文部科学省、厚生労働省、大阪府、大阪市、大阪府教育委員会、滋賀県教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪市教育委員会、京都市教育委員会、神戸市教育委員会、認定特定非営利活動法人パイロットインターナショナル日本ディストリクト基金=認定NPO法人PIJD基金、日本LD学会、日本障害者協議会、日本障害者リハビリテーション協会、JDD Net準備会、社団法人日本自閉症協会、NPO法人えじそんくらぶ、NPO法人アスペ・エルデの会、NPO法人エッジ、朝日新聞厚生文化事業団、産経新聞厚生文化事業団、毎日新聞大阪社会事業団、読売愛と光の事業団大阪支部

<プログラム>

第1部 講演

10:05-11:05 基調講演「軽度発達障害児の教育を考える - 現状と今後の方向性」

竹田 契一 (大阪教育大学名誉教授)

11:05-11:55 特別講演「ADHDの理解と対応」

田中 康雄 (北海道大学大学院教育学研究科臨床講座教授)

<昼休憩>

13:00-13:50 特別講演「高機能自閉症スペクトラム(高機能自閉症・アスペルガー症候群)の理解と対応」

内山 登紀夫(大妻女子大学 人間関係学部助教授)

第2部 解説

13:50-14:30 解説「発達障害への国の施策の現状と今後の方向 - 文部科学省」

柘植 雅義 (文部科学省 特別支援教育調査官)

14:30-15:10 解説「発達障害への国の施策の現状と今後の方向 - 厚生労働省」

大塚 晃 (厚生労働省 障害福祉専門官)

<休憩>

第3部 シンポジウム

15:25 - 17:25「発達障害のある本人・家族への支援に向けて」

シンポジスト 内藤 孝子 (全国LD親の会 副会長)

高山 恵子 (NPO法人えじそんくらぶ 代表)

氏田 照子 (社団法人日本自閉症協会 副会長)

辻井 正次 (NPO法人アスペ・エルデの会 代表)

指定討論 柘植 雅義 (文部科学省 特別支援教育調査官)

大塚 晃 (厚生労働省 障害福祉専門官)

司会 山岡 修 (全国LD親の会 会長)

参加申込について

参加費は無料です。

一般参加は、「当日受付」のみで、事前受付け、予約は不要です。

会場が定員(1400名)になり次第入場受付を終了させていただきます。

LD親の会会員の方は、所属の会経由で、事前にお申し込みください。

**当日、好評配布中の「LD、ADHD、高機能自閉症とは？」
(全国LD親の会編)を先着1200名に無料配布します。**

●第2回特別支援教育シンポジウム

主催 JASEN <http://kansas.ceser.hyogo-u.ac.jp/jasen/>

教師、保護者の方々の参加をお待ちしています。 会費 500円

日時：2005年8月6日(土) 13時30分～16時

会場：阪南パラドーム 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目22-15

テーマ：保護者の養育負担を支援するために

シンポジスト：

野口美加子氏（東京都在住の保護者）

自閉症のある人の将来---息子／娘のライフプランを考える

水野 誠氏（湖南省在住の保護者）

湖南省発達支援システムから保護者はなにを得ているか

朝野 浩氏（京都市立西総合養護学校）

卒業後の自立を支援する養護学校のカリキュラム再編

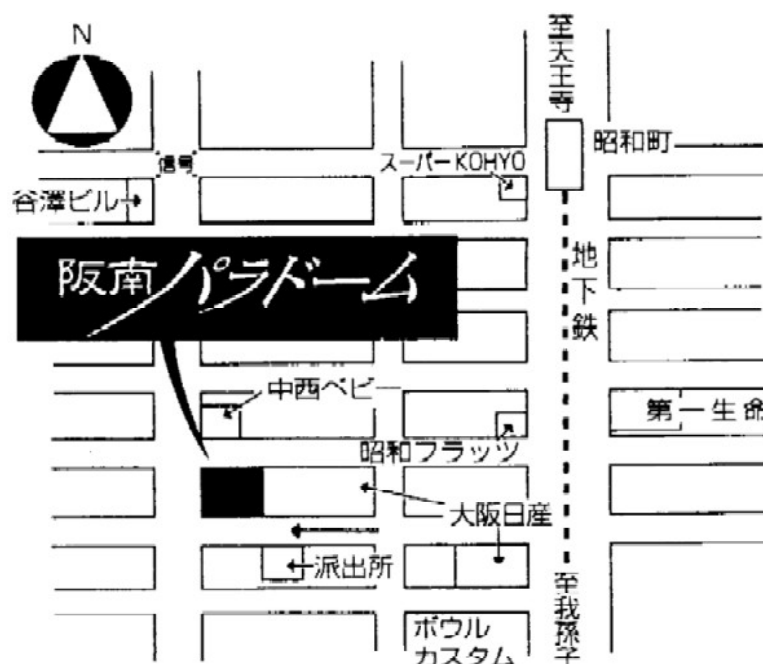
藤田継道氏（兵庫教育大学）

月例指導会などでの保護者への支援から考えること

司会： 梶 正義氏（兵庫県立のじぎく養護学校）

コーディネータ： 朝野 浩・成田 滋（兵庫教育大学）

なお当日会場では、企業、団体、親の会、個人などが出版している教材、玩具、書籍や資料などを展示販売いたします。



堺おもちゃ図書館 ぽっぽ

たーくさんのおもちゃの中で、みんなの主役になって遊びましょう！
おもちゃ図書館は、障害のある子どものニーズに即した支援をすることで
自らが主役になって遊び「おもちゃって楽しい」「友達と遊ぶのうれしい」
を感じてもらおうという、国際的ボランティア活動です。



1) ぽっぽの結成

平成9年、通園施設えのきはいむの母親（子供が3～5歳の母親）9名で設立、それが口コミでど
んとんと伝わり、一年目は年間延べ約800名の参加者になる。

2) 現在の状況

毎月第4土曜日、堺市総合福祉会館ブレイルームにて、11時から16時まで開館
スタッフ：2005年5月で42名、そのほとんどが障害児の母親。

参加者：知的・肢体・聴覚・視覚など種別・程度が幅広く、年齢は0歳から10歳くらい。

参加者数は毎回60から100名で、半数以上が子ども、その半数が障害児。

参加費：無料、貸出も無期限で無料、毎回募金を集め活動費にしている。

おもちゃの図書館全国連絡会・堺市社会福祉協議会の加盟団体のひとつ。



3) その他の活動

障害児と家族のニーズに応え活動する内、下記のような活動を継続的に実施。

- ① **ぴあぴあ** 障害児の母親による相談活動（ピアコーディネーター）
- ② **外出グループ** **ぴっぴ** 重度知的障害児（小4以上）の集団での外出支援
- ③ **放課後クラブ** **ばる** 養護学校小学部児童の放課後活動支援
- ④ **音楽サークル** **ドロップス** 重度知的障害児の音楽活動支援
- ⑤ **ぷらっしゅ** 肢体・知的・発達障害の重複児の余暇支援
- ⑥ **PSG** 障害児保護者の「障害支援勉強」の支援
- ⑦ **連続勉強会** 幼児知的障害児の母親対象勉強会
- ⑧ **発達障害啓発チーム** **プリズム** 発達障害の啓発活動を実施
- ⑨ **ふぁにい** 知的障害児と家族に役立つ情報を配信するメルマガを発行
- ⑩ **その他、イベントの企画**



2月「人形劇&コンサート」サンスクエア堺 259名

2月「ダンス交流会」泉北養護学校 49名

3月「スケート体験会」なみはやドーム 184名

4) 平成16年度の参加数

おもちゃ図書館開館 全10回 参加総数 1056名

（6月と10月は福祉会館が使えないためお休みしました）

イベント・勉強会参加者 総数 912名

メディア紹介

FM千葉 平成10年8月 産経新聞 平成16年2月

読売新聞 平成16年12月 朝日新聞 平成17年4月

KBS京都 平成17年5月

講演会のご案内

堺市のみんなで、 発達障害を啓発しよう!

発達障害を持つ人・子どものこと、もっとわかって欲しい・・・、でもどうすればいい?
「発達障害者支援法」が施行され、国レベルで発達障害に取り組んでいこうという流れができているけど・・・、でも、現実は何? どんな風になっていくの? そんな疑問・不安を抱えつつ・・・、少し見えているのは・・・

とかく誤解の多い発達障害。

「大切なのは“本人を変える”ではなく、“社会を変える”ことなのかも・・・。
社会の理解の中で、発達障害のある人達が“自分らしく”生きる中で
その人自身の発達はうながされていくのでは・・・」 だから

「そのために、多くの人に、発達障害を正しく理解してほしい」

そんな思いを持った人達が、今、堺市で「地域に啓発するには、どうすれば?」を考えています。
その1つとして実施するこの講演会、皆さんもぜひご参加ください!

日時 H17年7月8日(金) 11時~13時

場所 堺市総合福祉会館 5F ホール

堺市南瓦町2-1 072-222-7500 南海高野線「堺東駅」徒歩10分

対象者 堺市とその近辺の発達障害児者の保護者・本人・関係者(定員496名)

内容 ハルヤンネ@奥平綾子さん 講演会 (有)おめめどうー自閉症サポート企画 代表

参加費 1名 500円 (当日、お支払い下さい)

申込方法 メール miyumike@yahoo.co.jp

☆FAX 072-232-9977(ぼっぼ) ☆TEL 072-258-8809(西川)

件名「ハルヤンネさん講演会」とし、内容「名前、人数、連絡先」を送ってください。

申し込みはできるだけ、メールかFAXでお願いいたします。

定員になり次第、受付を終了します。

●ハルヤンネさんプロフィール

自閉症・発達障害の人達を支援する(有)おめめどうー自閉症サポート企画 社長さん!

レイルマン レイルマン2などの著者。ドラマ「光とともに」の特別番組に出演するなど全国レベルで有名な自閉症児(ダダくん)のお母さんであり、大活躍の支援者☆ 超!わかりやすい講演は、即! 役立つ「暮らしへのアイデア」満載! http://homepage2.nifty.com/omemedo-aut_support/

発達障害とは・・・発達障害者支援法の定義では、自閉症・アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害、その他これに類する脳機能の障害のこと。状態は、知的障害を始め染色体異常・体幹機能障害など他の障害を伴うことも多くある。また知的レベル・特性などの状態も様々である。